

道路「行き止まり」を示す

たて看板の設置を実現！



狭くなる路地

白山2丁目19番地の狭くなる路地。地理に暗いドライバーが、通り抜けを行おうと、路地へ進入していきます。路地はやがて上り坂となり、どんどん先は狭くなります。「あっ、これはまずい！」とドライバーが気づいた時にはもう遅く、バックではなかなか引き返せません。夜間などは「立ち往生」した「車のエンジン音がうるさくて眠れない」と地域住民の苦情が絶えず、時には警察が出勤する事態も・・・。

しかし、よく見ると「進入禁止」の標識は電柱に設置済みなのです。



位置が高すぎる標識

白山2丁目19番地で



看板が設置された路地入口

ただ標識の位置が高すぎて見えないのです。これでは、ドライバーが気づかずに進入してしまうのも無理はありません。ドライバーにとっては災難、住民の方にも迷惑・・・。相談を受けた若井のりかず総支部副青年部長は、早速実態を調査し、「ここに道路「行き止まり」を示す、たて看板の設置

を提案しました。9月5日、若井のりかズの提案に基づき、文京区への公明党の要請が実って、たて看板の設置を実現することができました。

お気軽にご相談下さい！



若井のりかず

総支部副青年部長/連絡先: 3815-1577

印刷責任者 若井のりかず 文京区白山2丁目11番4号 セントラル小石川403